

会計名		施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	富士松市民センター		
款	項					目	課等長名	原田 育雄	
10	5					9	作成者	近藤 延弘	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（富士松市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。		主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民	事業期間	昭和59年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 	
成果 (できたこと)		身近な学習施設である富士松市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう努めた。							
課題 (できなかったこと)		施設の老朽化が進む中で、施設利用者に安全で快適な空間を提供するため、適切な維持管理が求められる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		富士松公民館年間利用者数（人）		25,731	26,483	25,548	25,600	25,700	
成果指標		施設利用率（%）		36.3	35	34.3	35	36	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		10,494	10,984	10,545	11,968	合計	10,544,573 円	
	財源	特定財源	1,446	1,390	1,421	1,561	需用費	4,189,383 円	
		一般財源	9,048	9,594	9,124	10,407	役務費	225,732 円	
	職員人件費 ②		0	3,624	4,307	5,245	委託料	6,078,114 円	
	総事業費 (①+②)		10,494	14,608	14,852	17,213	使用料及び賃借料	51,344 円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		市民センター使用料			
25年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金					

会計名		施設補修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	富士松市民センター		
款	項					目	課等長名	原田 育雄	
10	5					9	作成者	近藤 延弘	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設寿命の長期化を図る。		主たる内容	施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設寿命の長期化を図るための計画的な施設補修、施設改修を行う。 ・富士松市民センター電気設備の改修 ・富士松市民センターエレベーターのリニューアル ・富士松市民センター揚水・給水ポンプ等改修				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	社会教育法					
		対象者	市民		事業期間	昭和59年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		_____		_____		・屋根防水改修工事 ・パラペット等防水改修工事 ・自家発電機修繕工事 ・大集会室照明器具取替工事 ・廊下非常灯修繕		・電気設備改修工事 ・エレベーターリニューアル工事 ・揚水・給水ポンプ等改修工事	
成果 (できたこと)		改修によって施設寿命の長期化が図られた。							
課題 (できなかったこと)		施設の経年劣化により、補修箇所が増加している。計画的に補修を行う必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,999	18,000	合計	7,998,900 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	7,998,900 円	
		一般財源	0	0	7,999	18,000			
	職員人件費 ②		0	0	1,077	1,498			
	総事業費(①+②)		0	0	9,076	19,498			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	富士松市民センター			
款	項	目					課等長名	原田 育雄			
10	5	9					作成者	近藤 延弘			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	学習機会の充実								
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供するため、市民の生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を概ね下記のとおり開催する。 ・講座数：前期4講座、後期4講座 ・受講期間等：約3ヶ月、10回程度 ・1講座当たりの受講者：8人～24人程度					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画								
			根拠法令	社会教育法							
		対象者	市民			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		市民講座開設数 7講座 市民講座受講者数 162人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 124人		市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 157人		市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 141人			
成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。									
課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果 指標		市民講座受講者数 (人)			162	124	157	141	150		
成果 指標											
他市との 比較検証		近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		524	482	645	695	合計		644,825 円		
	財 源	特定財源	147	103	127	116	報償費	555,000 円			
		一般財源	377	379	518	579	需用費	64,825 円			
	職員人件費 ②		0	2,899	3,230	3,372	役務費	25,000 円			
	総事業費(①+②)		524	3,381	3,875	4,067					
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0		講座受講料							
25年度以降の事業費見込		0									

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	富士松市民センター			
款	項	目					課等長名	原田 育雄			
10	5	9					作成者	近藤 延弘			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	学習活動の支援								
	目的	富士松市民センター利用団体の学習意欲の向上と利用団体間の交流、地域住民との親睦を図る。			主たる内容	富士松市民センターにおいて、年1回、利用団体による学習成果の展示会・芸能発表会、お茶会を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画								
			根拠法令	社会教育法							
		対象者	富士松市民センターの利用団体及び地域			事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		2月21日(日)開催 参加団体数 26団体 参加者数 272人 入場者数 383人		2月20日(日)開催 参加団体数 23団体 参加者数 225人 入場者数 348人		2月19日(日)開催 参加団体数 21団体 参加者数 213人 入場者数 385人		2月下旬開催予定 参加予定団体数 23団体 参加者予定数 240人 入場者予定数 390人			
成果 (できたこと)		参加者の学習意欲の向上が図られ、新たな学習課題の発見につながった。 参加団体間の交流が図られた。 参加者と地域住民の交流や親睦が深められた。									
課題 (できなかったこと)		参加団体数、参加者数、入場者数とも前年実績を下回った。 参加団体数、参加者数、入場者数を拡大する方策が求められる。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標	参加団体数(団体)			26	23	21	23	25			
成果指標	来館者数【参加者数+入場者数】(人)			655	573	598	630	650			
他市との比較検証	近隣市(安城市)においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。										
C 事業コスト V	単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①		320	320	320	320	合計	320,000円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000円			
		一般財源	320	320	320	320					
	職員人件費②		0	1,450	1,436	1,873					
	総事業費(①+②)		320	1,770	1,756	2,193					
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費			0								
25年度以降の事業費見込			0								